



6月に発刊された池間誠編著の「国際経済の新構図～雁行型経済発展の視点から～」(右写真)でスマイル会メンバーの中内恒夫先生が「第1部第2章雁行型経済発展論の継承と発展」の部分の執筆を担当されました。

要旨：

今、世界経済は金融面と実体面で大きな構造変動と調整の局面にある。この変動と調整の過程にあって、冷静な歴史的視点あるいは変化を見通す視点が必要である。そのための貴重な視点を提供するのが雁行型経済・産業発展論と言えよう。本書は、雁行型経済発展の視点から、各執筆者の専門領域で、発展の新理論を織り込み考察したものである。

- 第1部 雁行型経済発展論：総論（雁行型経済発展論 小島ヴァージョンの成果と課題；**雁行型経済発展論の継承と展開**；雁行型経済発展の形態論 ほか）
- 第2部 雁行型経済発展の実証（オフショアリングと新たな国際分業 雁行型経済発展論の再考；東アジア経済の新たな潮流と雁行形態論；独立後インド産業発展の概観 雁行型発展論への含意 ほか）
- 第3部 雁行型経済発展の新理論（雁行型発展の理論 特殊要素モデルを中心として；雁行形態論の新理論モデル；雁行形態的南北間産業内貿易 ほか）